



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

◎例会日 毎週水曜日(12:30～13:30) ◎事務所 いわき市植田町中央一丁目6番地の9
◎例会場 ホテルミドリ 〒974-8261 ホテルミドリ内
TEL0246-62-3737

人類に奉仕するロータリー

第 2667 回 例会 平成 28 年 10 月 26 日(水・晴)

2016～2017 年国際ロータリーのテーマ

ゲスト

福島県立磐城農業高等学校

インターアクトクラブ顧問 佐藤 智子先生
部員 1 年 萬波 滯さん
// 1 年 浅野 七海さん

◎会長報告ー富澤藤利会長

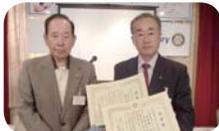
皆さん、今日は。まず最初に 10 月 23 日に開催されましたいわき分地区の I M について要点のみご報告致します。いわきワシントンホテル椿山荘で 14 時から行われました。当クラブからの参加人数は 20 名で分地区内では 1 番多い出席人数でした。ありがとうございます。I M で先日の地区大会でもいわき分地区の中では、最も多い人数で参加して戴きました。今後行事等には大勢の参加を宜しくお願い致します。I M で佐久間ガバナーがお話をされた内容で私が印象的でしたのは、「ロータリークラブは暮しや街を良くする人達の集まりである」と話をされておりました。今後の活動に活かして行きたいと思致します。記念講演では森まさこ参議院議員が「チェルノブイリ被災地から学ぶ福島の復興」という内容をお聞き致しました。それから今日はご覧の通り磐城農業高等学校インターアクトクラブの皆さんがお見えになっております。後程年次大会や研修会の報告をして戴くことになっていきますので宜しくお願い致します。私からは以上です。

◎地区大会表彰授与

先週お渡し出来なかった鈴木修一郎会長へ地区大会表彰状をお渡し致します。前の方へどうぞ。

◎幹事報告ー岩元義春幹事

・クラブ細則変更状況及びクラブ役員地区出向者調査について会長が 2 月末日まで調査します。
・ガバナーエレクト国際協議会歓迎会のご案内が届いております。クラブ奉仕委員会高萩副委員長が 12 月 4 日に参加する予定になっています。
・ガバナー補佐より I M の礼状が届いております。
・福島民報社広告掲載紙、米山記念奨学会報、いわき桜ロータリークラブ 11 月プログラム、東京江戸川ロータリークラブの週報を只今閲覧中です。
・10 月 22 日社会奉仕委員会セミナーに参加した鈴木副会長、鈴木修一郎会長、高木会員、星会員御苦勞様でした。



会長 富澤 藤利
幹事 岩元 義春
SAA 吉野 文敏
会報小委員長 浜津 真也

ロータリーソング 我等の生業

ー今日は米山月間・米山記念奨学会委員会(経済と地域社会の発展)月間ですー

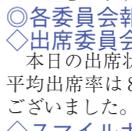
4 つのテスト
川口登志雄 会員



・ I M に参加された皆さん大変お疲れ様でした。特に 3 分間スピーチをされた鈴木副会長御苦勞様でした。
・ 10 月 30 日(日)三クラブ親睦ゴルフコンペが日立のザ・オーシャンゴルフクラブで開催されます。当日、ホテルミドリ出発が 7 時 45 分となっていますので宜しくお願い致します。

◎葬儀の御礼挨拶ー鈴木雅之直前会長

皆さん、今日は。先週 18 日、19 日と父の葬儀に際しましては沢山の会員の皆様方に御会葬戴き誠にありがとうございます。本来なら個々の皆様にお伺する所、このロータリーの席をお借りし御礼を申し上げます。ありがとうございます。



◎各委員会報告 ◇出席委員会ー押田小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。なお、10 月の平均出席率は 82.25 パーセントでした。ありがとうございます。

◇スマイルボックス委員会ー富岡小委員長

・磐城農業高等学校インターアクトクラブの皆様を歓迎して。富岡、鈴木(雅)、添田、越田和、斉藤、清水、矢代、生駒、山下、鈴木敏広、荒川(義)、高萩、関川、赤津(善)、川口、蛭田、渡邊(公)、高木、星、鈴木(修)、渡邊(國)各会員及び富澤会長、鈴木副会長、岩元幹事
・父昭の葬儀に際し、皆様には大変お世話になりました。心から御礼申し上げます。 鈴木雅之会員
・本日早退ごめんない。 鈴木敏広会員
・しばらく休んでごめんない。 生駒、高田各会員
・前回休んでごめんない。 藤田、富岡各会員

◇青少年奉仕委員会ー嵐委員長

青少年奉仕委員会より 10 月 21 日にインターアクトクラブ連絡協議会が開催され、私と高橋副委員長と磐城農業高校の顧問の先生の 3 名で参加致しました。郡山の開成生で 13 時から 15 時まで行われ内容は 28 年度



のリーダー研修、年次大会の事業報告と会計報告、28 年度の国際理解研修の事業計画と予算案、29 年度のリーダー研修会と年次大会と国際理解関係の協議を行いました。12 月 9 日、10 日は国際理解研修会が磐梯熱海で開催されます。磐城農業高校インターアクトクラブから生徒 6 名、顧問の先生 1 名の 7 名と私で出席する予定です。

◇米山記念奨学会ー赤津善宣小委員長

皆さん、今日は。10 月は米山月間となっております。皆様には今日はお願ひということでお話をさせて頂き戴きます。普通寄付と特別寄付があります。普通寄付はクラブより上期と下期に納入されています。お願ひというは特別寄付で 10 万円だと米山功労者の感謝状が出ますので宜しくお願い致します。

◇社会奉仕委員会ー鈴木修一郎委員長

地区の社会奉仕セミナーに参加して参りました。10 月 22 日(土)に行われました。参加者は鈴木副会長、高木会員、星会員と私の 4 名です。エコキャップの回収もあり当クラブから 738 キロ出して参りました。皆さんご協力ありがとうございます。地区全体では 144 キロのエコキャップの回収がございました。

◎磐城農業高等学校インターアクトクラブ報告

「2015～2016 年度 国際ロータリークラブリーダー研修会報告」

ただいまより、今年度参加しましたインターアクトクラブリーダー研修会について報告します。今回のリーダー研修会には、ロータリークラブの嵐様に同乗させて頂き、磐城農業高等学校より 4 名が参加しました。リーダー研修会は平成 28 年 6 月 15 日に、郡山市労働福祉会館で行われました。今回は高志高等学校のホスト校、ホストロータリークラブは郡山南ロータリークラブです。開会点鐘、インターアクトクラブの歌、4 つのテストから始まり、ホスト校あいさつ、ご来賓の方々よりごあいさつをいただき、開会しました。

はじめに研修 I 「インターアクト入門」です。講師は郡山南ロータリークラブ奉仕プロジェクト常任委員長木原悟様です。まず、国際ロータリーの概要、ロータリー創立は 1905 年、明治 38 年などの沿革、ロータリーの目的、「四つのテスト」などについてお聞きしました。そしてインターアクトクラブについて説明していただき、インターアクトが国際ナショナルとアクションの 2 つの言葉が複合された名称で、そのはじまりと創立の目的のお話を聞き、改めて、インターアクトクラブ員としての自覚と責任を再認識しました。

研修 II は「チームを成功に導くためにリーダーがなすべき 3 つのステップとは？」というテーマです。講師は郡山南ロータリークラブ会員であり、株式会社ライフロール代表取締役の阿部尚俊様です。先生からは「リーダーとは？」という質問から始まりました。私の中ではリーダーというは、皆に信頼され、周りの人のことを考えて行動し、引っ張っていき人だと思っていました。

しかし、それだけがリーダーではないのだということを知りました。リーダーの行動スタイルは 1 つではなく、「メンバーに指示を出す指示型」「メンバーを支援する支援型」「メンバーと一緒に決める参加型」「メンバーに何が何でも目標達成させる達成指向型」の 4 つの型に分けられるとのことでした。それであれば私にもなれるのかなと思いました。

この研修ではグループワークを行ないました。はじめにグループで話し合っ紙を使い高さを競うというゲームを行いました。グループでは他校の初めて会う人ばかりでしたが、楽しくゲームをすることができました。先生のお話を聞き、自分でもリーダーができるかなと思いました。

分科会では 3 つのテーマに分かれて行われました。分科会 I は「始めてみよう楽しいボランティア活動」講師は郡山市社会福祉協議会 馬場善絵様です。この研修ではボランティアとは何か、また、ボランティア活動と福祉などについて聞きました。ここでは班別で話し合いをして、とても勉強になりました。

分科会 II では「高齢者疑似体験を通して」というテーマで特別養護老人ホーム 笑風苑の近内直美様、郡山西部地域包括支援センターの白石好美先生から実技を交えてご指導していただきました。この研修ではテーマに沿って高齢者疑似体験をさせていただきました。体におもいを付けたりしましたが、思ったように動かすことができず、私にとっては一時的な体験ですが、高齢者の方々にとっては現実になっていることで、今の私にはどんなことができるのか、考えさせられました。

分科会 III では「船の中の大事件」というテーマで、問題解決や対立の解決方法についてグループで話し合いました。私の友達も友人同士対立し、私自身その対立によく巻き込まれることがあり、グループでロールプレイ(役割演習)をやり、立ち居振舞いについて学び、両方の意見、言い分をよく聞かないといけないと思いました。今回の研修を通して、インターアクトクラブ内だけでなく、クラスや学友会、部活動などで、リーダーシップを発揮し充実した学校生活を送りたいと思いました。

最後にこのような研修の機会を与えていただき、ご指導いただいた嵐様はじめ、ロータリークラブの会員の皆様に感謝いたします。

2016～2017 年度 国際ロータリー 第 2530 地区インターアクトクラブ 第 23 回年次大会の様子について

第 23 回年次大会が、平成 28 年 8 月 2 日(火)～3 日(水)の 1 泊 2 日目の日程で、いわき海浜自然の家(いわき市久之浜町)で開催されました。今年の大会テーマは「海洋を通して、生命と環境を考える」であり、私たち磐城インターアクトクラブがホスト校として、大会運営を担当しました。

県内のインターアクター 89 名、兵庫県からのインターアクター 17 名、インターアクトクラブ顧問 22 名、関係ロータリアン 20 名、合計 148 名の参加がありました。磐城インターアクトクラブ会長 3 年高橋さん、磐城農業高校渡辺校長先生もあいさつをしました。

アクアマリンでは、シラカスなどは希少生物、自然と人間の共生、生き物の進化や環境の変化、福島県沖の海洋生物、熱帯や極寒の自然環境と世界の海域などについて、展示を見たり、資料を読んだりして知識を深めました。

会場設営、司会進行、活動準備、片付けや展示など、顧問 3 名、選抜インターアクター 17 名が丸ごと大会を盛り上げました。今回ホスト校ということで、勿来ロータリークラブ様から臨時活動費のご支援をいただき大変ありがとうございます。地元で変化をもたらす磐城インターアクターとして、今後も頑張っていきたいと思致します。



出席状況

正会員数 56 名
本日の出席率 82.35%

本日出席会員数

42 名